

科目	周産期の生理とハイリスク状態				
時間数	1 単位 20 時間	授業方法	講義	授業時期	2 年
講師名	④宮内文久 ②和泉麻実				
実務経験	④医師(医療機関) ②助産師(医療機関)				
ねらい	周産期を中心として、対象に起こりうる主な疾患と検査・治療について理解し、看護を行ううえでの基礎知識を学ぶ。				
目標	1. 周産期における主な疾患と検査・治療について理解する。 2. 新生児に起こりやすい健康問題と検査・治療を理解する。				
授業計画					
回	内 容				
1～2	妊娠の成立と妊娠経過の診断				
3～4	分娩の異常と検査・治療				
5～7	妊娠の異常と検査・治療				
8	不妊の治療・検査				
9～10	新生児の異常と検査・治療				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験及び平素の学習状況を総合して評価する。 60 点以上を及第点とする。				
教科書	母性看護学(2)母性看護学各論:医学書院				